

守口子ども議会
国際ロータリー第2660地区 守口ロータリークラブ

**令和2年度守口子ども議会
参加予定生徒**

第一中学校	横井洋人 (2年)
庭窪中学校	大竹雅 (2年)
八雲中学校	米井優芽 (2年)
梶中学校	安田楓花 (2年)
大久保中学校	高祐希 (2年)
錦中学校	田本皐月 (2年)
樟風中学校	大平泰馳 (3年)
さつき学園	小林慶也 (8年)

樟風中学校(3年) 大平泰馳

記念品を手渡す守口ロータリークラブ 竹嶋修一郎 社会奉仕委員長

衛生問題について



梶中学校(2年) 安田楓花

【質問】
ゴミの分別はとても大切なことです
が、大人だけでなく小さい子どもや小
中学生なども、プラスチックか生ごみ
かなどの違いがいまいだと思えます。
そこで、すべての人が分かりやすく、
楽しく読めるパンフレットを各家庭に
配ることを提案します。

【回答】
市では、市民の皆さんに正しく分別
していただくために、令和2年3月に
は家庭ごみの「排出手引き」を市内全世
帯に配布しました。

また、広報もりぐちには子どもたち
にもごみへの関心をもってもらえるよ
う4コマ漫画「レッツくりあ」を連載し
ています。

今後、子どもから高齢者までより
分かりやすく、ごみの分別ができるよ
うに、さらに工夫を凝らしていきます。

街づくり、環境問題について



庭窪中学校(2年) 大竹雅

【質問】
電柱について、狭い道を通るとき衝
突しそうななどとても怖く危険な
ので、電線を地下に埋め、その空いた
スペースに木を植えるというのはどう
でしょうか？さらに、植える木につい
ては、虫が寄りにくいシマトネリコと
いう種類の木を推薦します。

【回答】
電線を地下に埋め、電柱を撤去する
ことについて、市のメイン・シンボル
ロードでもある、京阪守口市駅前と国
道1号をつなぐ、現在拡幅事業中の都
市計画道路豊松月線で電線共同溝事
業を実施する予定であり、現在、関西
電力やNITと調整に入っています。

また、市でも今後道路や公園の植栽
にあたって、樹木を選定する際に検討
していきたいと思えます。

「守口子ども議会は、守口ロータ
リークラブが主催となり、時代を担う
子どもたちに市政、市議会の仕組みや
概要を知って、市政への関心・理解を
深めてもらうことを目的に毎年開催し
ています。
本年度も令和2年12月5日に開催を
予定していましたが、新型コロナウイルス
の感染拡大に伴い、残念ながら中止
となりました。
そこで、当日参加を予定していた子
ども議員の皆さんと質問の一部(要旨
抜粋)を紹介します。



八雲中学校(2年) 米井優芽



大久保中学校(2年) 高祐希

バスについて



第一中学校(2年) 横井洋人

【質問】
守口市は、京阪バスも含め、バスの
本数が少ないのが現状です。また、大
日駅や守口市駅にコミュニティバスが
走っていないのも大きな欠点だと思
います。そこでコミュニティバスの本数、
バス停を増やしていただきたいです。

【回答】
コミュニティバス「愛のみのり号」
は、民間の路線バスと異なり、市立図
書館や市役所、コミュニティセンター
などの市の公共施設を結ぶ形で運行し
ています。

人口減少と高齢化で利用が減ってい
るため、民間の路線バスが縮小してい
る中で、市として地域の公共交通確保
にどういった役割を是にしていけるべ
きか、料金や負担のことも含め、専門家
の先生と議論を始めました。今後、こ
うした議論も踏まえ、より良い地域公
共交通のあり方を考えていきます。

市内の公衆トイレの改修について

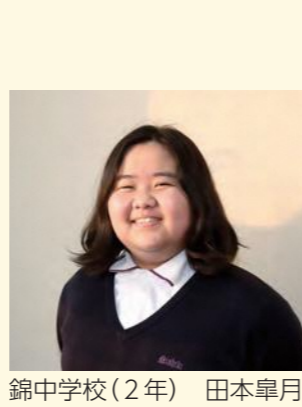


さつき学園(8年) 小林慶也

【質問】
公園や淀川のトイレの臭いや汚れが
気になって、使いたいときにためらっ
てしまいます。公園によっては外から
丸見えなどもあります。誰もが安
心し、快適に使えるトイレを設置して
いってほしいです。

【回答】
現在、守口市では土居公園をはじめ
とする古くなってきた公園について、
大枝公園のようにもっと多目的で快適
に多くの人に使ってもらえるように
リニューアルを予定しています。その
際には、市民の皆さんが安全かつ快適
に利用できるトイレも合わせて整備し
ていきます。

リサイクルについて



錦中学校(2年) 田本皐月

【質問】
2014年以降、守口市はごみの排
出量が変わっていません。それに対し
て、リサイクル率や焼却量は年々増加
しています。このことから、守口市の
リサイクルをするという意識が低下し
ていると思いますので、ホームページ
などを利用して、地域の人たちへ「リ
サイクルをしよう！」という声かけを
してもらいたいです。

【回答】
市では、古紙・古布・空き缶など資源
ごみの地域での集団回収に奨励金をお
支払うするなどして再利用を進めてい
ますが、これからもご提案のホーム
ページやSNSを活用し、また地域に
出向いて、一層リサイクルが進むよう
啓発活動に取り組みます。